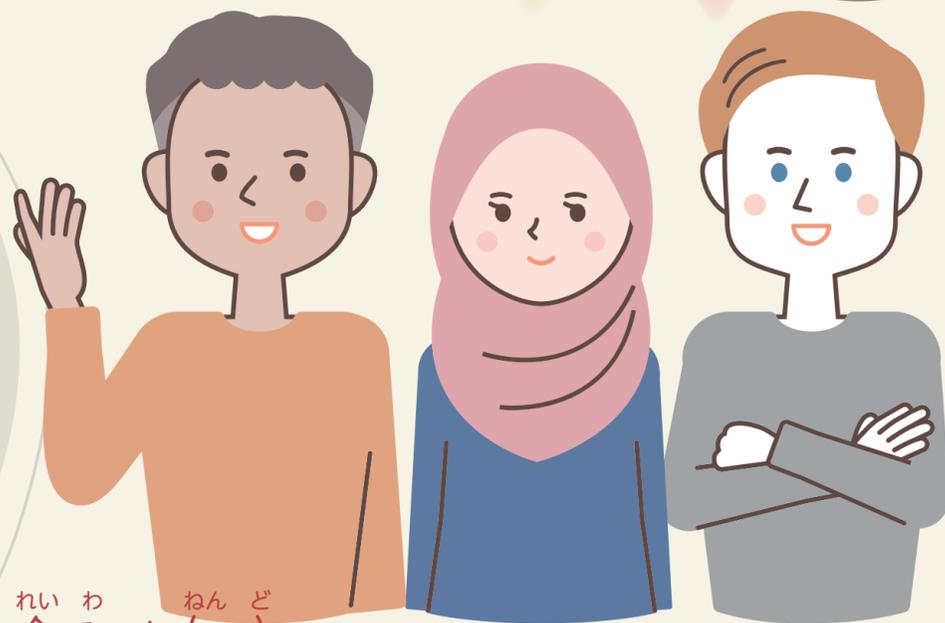


無料

文化や国籍の違いに関係なく、市民ひとりひとりがお互いを尊重し共に生きる「多文化共生」。東村山市の「多文化共生」について、専門家がわかりやすく話します。また、さまざまな出身国のかたがた、海外生活の経験があるかたが体験談を話します。お話を通して、地域でともに生きる「多文化共生」について、考えてみませんか。



令和6年度

多文化共生 市民フォーラム



『ひとりひとりのLife in Higashimurayama』

日時 2024年12月7日(土) 午前10時～午後12時(予定)

対象 市内在住・在勤のかた
優先



基調講演 渡戸一郎氏 明星大学名誉教授

明星大学名誉教授(都市社会学)、東村山市多文化共生推進等協議会会長。90年代から外国人との共生を目指す市民活動や自治体の外国人政策づくりに関わる。2008年、移民政策学会の創設に関わり、会長を2期務める。現在、多文化共生教育ネットワーク東京(Team-Net)共同代表、東京ボランティア・市民活動センター運営委員長、東京都社会福祉協議会理事、日野市社会福祉協議会理事など。主な編著書に『多民族化社会・日本』明石書店、『変容する国際移住のリアリティ』ハーベスト社、『移民政策のフロンティア』明石書店など。

場所 東村山市 市民ステーション
サンパルネ コンベンションホール

11月5日(火)から11月22日(金)までに、
二次元コード、HPの申し込みフォーム、
電話又はメール(氏名、ふりがな、住所、
電話番号、所属する団体がある場合は
その名称)を明記し下記メールアドレスで
市民相談・交流課へ。

(sodankoryu@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp)
042-393-5111(内線3313)



パネリスト



高岸あや氏
看護アシスタント
慈雲堂病院

フィリピン出身。1997年8月来日。日本男性との結婚、妊娠、出産、子育て、離婚をすべて日本で経験。日本語を習得し、現職に在る。地域のフィリピン出身者のキーパーソンとして活躍。



パネリスト

登壇者
紹介
profile

モーリック 清美 アフィーファ氏

マザーズツリージャパン ベンガル語
通訳ボランティア
バングラデシュで出産・子育てを経験、11年在住。
その経験を活かし、現職。バングラデシュのママたちを
精力的にサポート。

パネリスト



李雪氏
教育学博士
早稲田大学の中国語講師

中国出身。教育学博士。中国の大学で日本語を専攻。2011年に日本へ留学し、博士課程を修了。博士号を取得後、中国の大学で教鞭をとった。2020年より早稲田大学で中国語教育に従事。娘は9歳、日本で生まれ、4歳まで中国で育ったバイリンガル。現在、日本の私立小学校に在学中。

パネリスト



ウキヨンジン氏

株式会社スクエア・エニックス
ゲームアートデザイナー
韓国出身。2018年来日。現在東村山在住。
2児のシングルファーザー。ゲーム業界で仕事をしつつ、
家事・育児を行う。